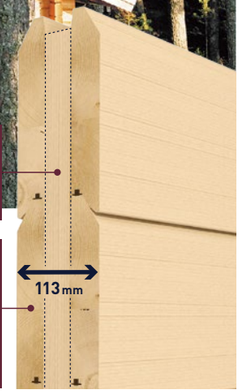
北欧の最先端、ゼロセトリングログを自由設計で

Feel-G
New standard log house

中心部の繊維方向を縦にした材が、収縮や沈みによるセトリングを抑制。

ログ厚が従来の88mmから113mmとなり、断熱・蓄熱性や、防音性が大きく向上しました。標準仕様で寒冷地にも対応できます。



Feel-Gログハウスはセトリング対策が不要な次世代型“ゼロセトリングログ™”

繊維方向の異なる木材を中央にサンドした3層ラミネート材“ゼロセトリングログ（特許出願中）”を標準採用。収縮や沈みによるセトリング対策が不要となり、高い気密性やメンテナンスの緩和を実現しました。これまでと異なる「新たなログハウス」をご提供します。

切妻 参考プラン 29.2坪　例えば、延床96.64㎡/2LDK　本体完成価格（税込） 2,060万円

平屋 参考プラン 35.7坪　例えば、延床118.07㎡/2LDK　本体完成価格（税込） 2,561万円

切妻 参考プラン 36.8坪　例えば、延床121.66㎡/2LDK　本体完成価格（税込） 2,470万円

※本体完成価格には、建物本体の工事費や標準基礎・内部給排水・標準電気配線工事費・設備機器、および弊社設定のオプション工事が含まれております。※作図費用・申請費用、及び外部給排水工事費用等、建築地条件に伴う付帯費用は含まれておりません。現地調査後に別途お見積り致します。詳細についてはお問合せ下さい。※外壁のカラーリングは、指定色よりお好みの色をご選択頂けます。※画像はイメージです。

まずは一度、展示場でログハウスを体感してください。

お近くの全国フィール加盟店にてご覧いただけます。
詳しくはお電話またはWEBよりお問い合わせください。

ログハウスのことなら、お任せください。
0120-15-6983（いこー ログ やさん）
資料請求・メールでのお問い合わせはこちらから。
www.kinoie.co.jp

vol. 36　2019 winter

a periodical Tuuli

ログハウスファンとフィールブランドでつくるコミュニケーション情報誌

Owners Life
ログハウスでの丁寧な暮らし
住宅街で満喫する、悠々自適なログライフ

from Finland
フィンランドの豊かな森林資源と環境に配慮して作られるログ材

Column
暮らしと窓

ログハウスでの丁寧な暮らし

住宅街で満喫する、悠々自適なログライフ

S様ご夫妻（埼玉県鶴ヶ島市）

今回のオーナーズライフは、埼玉県鶴ヶ島市の住宅街にログハウスをご建築頂いたS様ご夫妻をご紹介します。

今から30年程前にご家族が住める3世代のマイホームを建てられたS様でしたが、家族構成の変化とともに、ご夫婦二人が丁度良く暮らせる大きさの家へと建て替えを検討されていました。

「友人が20坪くらいの家に住んでいて、そのくらいの大きさの平屋がいいかなと思い、メーカー探しをはじめました。」

当初は住宅メーカーなどを検討していた中で、とあるログメーカーのチラシが目に留まり、ログハウスでの建築も相談しに出掛けたそうです。

「もともとキャンプやDIYが好きなので、ログハウスのセルフビルドに興味を持っていました。たださすがに住宅規模となると、重機や人手の手配も大変だと思い、メーカーにおまかせする事にしました。」

その中で、職場がお近くだったという弊社の展示場へも足を運んでくださいました。

「最初に行ったログメーカーさんでは強引に77mm幅のログハウスを勧められていたんですが、やはり断熱や強度を考えるともっと厚い方がいいなと思っていました。」

「フィールさんは標準でログ幅が88mm（当時）で、しかもそれほど費用は上がらずにオプションの113mmも選べるというところが決め手になりましたね。」

そう語っていたS様は、もちろん113mmのログ材をご選択いただきました。

現在、二人のお孫さんをお持ちのおじいちゃん・おばあちゃんでもあるご夫妻。

夫婦二人の居住空間にプラスして、お孫さん達が遊びに来た時に使えるスペースを希望されていました。

「プランの相談をしていく中で、当初考えていた平屋よりも2階がある方が基礎や屋根面積が小さく済む分、コストを抑えて希望が叶えられるということで、最終的にロフトタイプで設計を進めることになりました。」

「ロフトタイプにすることで、天井が高く広々した空間になったのがすごくよかったです。2階のロフトは吹き抜けをとっても20畳もの広さを確保できたので、孫が遊ぶだけでなく書斎スペースも設けられましたね。」

お孫さんが遊ぶためのボルダリングやブランコを設置したロフトスペースは、三輪車を

走らせたり、一角に畳スペースを設けることでごろ寝やお泊まりもできます。
そんなのびのび遊べるロフトやお庭でBBQ・プール遊びができるログハウスは、
「おばあちゃんのお家とわたしのお家、取りかえっこしよ！」「ダメー！」
とお孫さん達にも大好評だそう。
プランニングの際は、お孫さんが楽しめるアイディアだけでなくご夫妻が快適に暮らせる工夫も凝らしています。
「将来的に車椅子にも対応できるよう、狭い通路を設けず、室内の扉を全て引き戸にしました。」
「普段使うトイレとは別に寝室にもトイレを設置しました。来客が来た時も２つあるので、とても便利です。」
と今後の事を話すお二人はまだまだとてもお元気に感じました。

若い頃から富士山をはじめとする100名山を登山しているＳ様ご夫妻は、現在も健康登山やゴルフなど自然の中でのご趣味を満喫されています。
ご自宅でも家庭菜園や薪作りに精を出していて、広いお庭には畑と自作の物置小屋や薪棚、たくさんの薪のストックがあります。
「薪は近くの大学や山で伐採した木を使っているので、ほとんど無料で調達できて助かっています。薪ストーブでピザを焼くと美味しく焼けますね。焼けるのが早いからうっかりしていると焦げちゃう（笑）。他にもサツマイモやクッキーはパイプオーブンで焼くと上手にできます。」
と薪ストーブクッキングも楽しんでいただいているようです。
「あとは畑で採れたお野菜を料理に使っています。特にこんにゃく芋をたくさん使った自家製こんにゃくは市販品にはない食感と味なんですよ。」

ログハウスで、普段の暮らしを丁寧に楽しむご夫妻。

「うちにお見えになった方は、皆さん“木の香りがいいですね”って言ってくれるんですが、住んでいると匂いってわからなくなっちゃうんですよね…でもやっぱり木は良いです。」
「特にフィンランド産の木は品質に定評がありますから安心ですね。窓の性能も十分なので、夏も冬も一年中快適に過ごせています。薪ストーブのおかげで冬もあっという間に洗濯物が乾くので助かります。」

パチパチと燃える薪ストーブでコーヒーを沸かすＳ様ご夫妻のログハウスでは、マンションや住宅の建ち並ぶ住宅街にいる事を忘れてしまうような、ゆったりとした時間が流れていました。

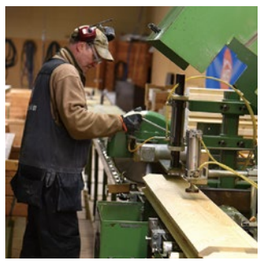
From Finland

フィンランドの豊かな森林資源と環境に配慮して作られるログ材

今回は、ログ材の原料となる
フィンランドの森林資源のお話と、
ログ材の製造工程について
お話しさせて頂きます。

高品質な木材を産出するフィンランドの森林資源

私達の国であるフィンランドは別名「森と湖の国」と呼ばれ、国土の73%を森林が占めている、先進国の中では世界で最も森林の多い国とされています。（日本は国土の68%が森林であり、スウェーデンと僅差で第３位ですね。）
そして、古くより林業が重要な産業となっているフィンランドでは、林業のサステナブル（持続可能）な発展が重視されてきました。
サステナブルな発展とは、現代を生きる人々が、将来世代に受け継がなければならない地球環境を脅かすことなく発展することで、「生態系」「経済」「社会」という３つの分野から成り立っています。これらは互いに相関しており、バランスがとても重要です。１つの分野に問題があると、バランスが崩れて、良好な発展を遂げるのは難しいのです。木材の利用についても、長期計画に基づいてよく検討する必要があり、木材としての木の伐採を木が成長するペースよりも速く推し進めてはいけません。
我が国の林業はどうかというと、長い目で見て十分、かつ大規模にこれらの条件を満たしていると言えるでしょう。
年間１億㎥超の森林の成長量に対し、その約半分が消費されています。伐採量は7,000万㎥までに制限されているため、森林資源は増加し続けている計算です。
また、森林資源を持続させることを推進する制度として、PEFC認証制度（Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes）というものがあります。
環境に配慮された適切な管理の下で、資源採集から製造・加工・流通を行っている企業を認証する国際的な森林認証制度で、私達の工場もその原則に賛同し、PEFC認証を受けています。



森林資源のログ材への利用

皆さんもご存知の通り、ログハウス建築は耐力壁を丸太で組んだ伝統的な木造建築の方法で、古くから用いられてきた建築資材であるログ材を使用します。
今日ではコンピューター制御による精密なマシンカットのログ材が主流であり、私達の工場では以下のような工程でログ材を製造しています。

1. ログ材の仕様に合わせて、丸太を製材する加工機のセッティングをします。
2. 材料となる丸太の品質をしっかりとチェックします。
3. 寸法を測り、コンピューター制御の加工機で正確にログ材へと加工します。
4. 組み立ての際に分からなくならないよう、ログ材一本一本に番号を付けます。
5. ログ材毎にノッチ部分やコンセントの穴など、必要に応じた加工を施します。
6. 出来上がったログ材を保護シートでラッピングし、コンテナに積み込み出荷します。

このように作られたログ材は建築地に運ばれ、地面に対して水平に置いて組み上げられ、互いに金物で固定されます。ログ材は積み上げによる荷重への耐久性に優れており、強固な構造壁となるのです。
また、ログ材も進化をしており、通常は荷重や乾燥により収縮する性質（セトリング）があるのですが、最近では新たな手法として、異なる繊維方向の木材を組み合わせてラミネートしたログ材が広まっています。
これが国内ではノンセトリングログと言われているもので、この新しいログ材を選択する人が急速に増え、フィンランドではスタンダードな材になりつつあります。

少し難しい話になりましたが、ご理解頂けましたでしょうか。もしフィンランドに訪れるきっかけがありましたら、自然にも目を向けてみてください。

From Tapani Taipale
（フィンランドのログハウスメーカー、Huvila Seppälä社代表）

COLUMN

暮らしと窓

近年省エネから始まり、ZEHといった言葉が徐々に浸透し、住宅の持つ断熱性や住環境の改善が必須項目となりました。断熱性を語る上で断熱材だけでなく、窓の性能も大きく関わっていることをご存知でしょうか？今回のテーマは「窓」について、ご紹介します。

建物にはたくさんの窓が付いていますよね。窓が無ければ日照を取り入れることができませんし、風通しも良くありません。外の素敵な景色を見ることも、デザインだって窓が無ければフラットであまり面白みがありません。
それほど私たちの快適な暮らしになくてはならない存在です。

しかし、世界的に見ると日本の従来の窓性能はとてもレベルが低く、欧州はもちろん、比較的気候の近い隣国にも劣っています。窓の断熱性能を比較するにあたって、窓の性能は「熱貫流率＝U値（W/㎡･K）」という数値で評価をします。これは1時間当りに通す熱量を意味しており、簡単に説明すると数値が小さいほど熱の出入りが少ない為、高性能と理解してください。

諸外国ではこの「U値」の最低基準を厳格に設けることで、住宅の断熱水準を高めていますが、残念ながら日本には基準が無い為、昔から採用されているシングルガラスのアルミサッシがいまだに出回っています。

ちなみにトップはログハウスの本場フィンランドの1.0W/㎡・Kです。

なぜそんなに厳格に定めているのか、それは住宅で熱の移動が最も起こるのが窓などの開口部だからです。日本建材・住宅設備産業協会調べでは、暖房の熱が逃げる割合は58%、冷房は73%と、暑さや寒さの原因の6割以上が窓という結果となります。
つまり窓の性能を上げれば、冷暖房効率が良く、省エネやお財布にも優しい非常に快適な住まいになるというワケですね。

2014年頃から日本の窓メーカーでは、企業や大学、研究者が手を組み、この問題に取り組んでいます。サッシの素材を熱損失の大きいアルミから樹脂へ、ガラスの層を増やしたペアガラスやトリプルガラス、ガラスの間には比重の重いアルゴンガスやクリプトンガスを設定し、高性能な窓を作り上げています。最近ではLow-Eと呼ばれる遮熱や断熱に対応した窓も製品化されています。当社でも採用している業界大手のYKKAP社やLIXIL社では世界に通用するような最高性能の窓の開発も進められていますし、今後多くの住宅がより一層快適な住まいになっていくと思います。

世界に遅れていた日本の窓製品は、技術大国日本として世界に誇る技術を持った「窓大国」になる日も近いかもしれません。

完成物件・建設中物件のご紹介

完成物件
- Y様邸　千葉県山武市
- E様邸　埼玉県新座市
- U様邸　東京都新島村

建設中物件
- T様邸　埼玉県久喜市
- I様邸　神奈川県横浜市
- W様邸　東京都大島町
- A様邸　神奈川県川崎市
- K様邸　栃木県那須郡
- T様邸　神奈川県厚木市
- S様邸　埼玉県比企郡
- T様邸　東京都板橋区
- Feel 横浜展示場　神奈川県横浜市
- T様邸　東京都新島村
- S様邸　埼玉県桶川市
- T様邸　神奈川県相模原市

東京都新島村　U様邸　**Feel-A**

シャープな外観が特長のFeel-Aブランドの建物が完成しました。ネイビーと水色の組み合わせが爽やかな、美しい島の海に映える一棟になりました。

埼玉県鴻巣市　K様邸　**Feel-J**

サイディングとカラーリングがアメリカンカントリーを思わせるかわいらしい外観が目をひく、Feel-Jブランドの一棟。正方形のプランに寄棟屋根としたプランです。

神奈川県厚木市　T様邸　**Feel-G**

近年人気の高い平屋のログハウスです。L字型のウッドデッキに面した開放的なリビング・ダイニングの他に、4つの居室と収納を備え実用性にも富んだプランニングです。

神奈川県川崎市　A様邸　**Feel-G**

帽子のつばの様な折れ屋根がアクセントになったFeel-Gログハウス。玄関から直接リビングにアクセスでき、キッチン・洗面室・トイレなどの水回りも集中させた無駄のない動線設計です。

Webサイトで物件の詳しい写真をご覧いただけます。**www.kinoie.co.jp**

増税目前　住宅購入応援キャンペーン
Feelブランド商品3%OFF!!

キャンペーン期間中にFeelブランド商品をご契約頂いたお客様を対象として、基本価格から3%減額にてご提供させて頂きます。
今年10月から施行予定の消費税10%への引き上げ。住宅価格への影響が懸念される中、Feelでは基本価格から3%を割引して、皆様の住宅購入を応援します！
2019年5月31日までの期間限定となりますので、お得なこの機会にぜひご検討くださいませ。

※基本価格とは、「㎡単価×床面積－吹抜面積」より算定した価格で、オプション費用、作図・申請費用等は含まれません。基本価格に含まれる内容は、各ブランドカタログをご参照ください。
※2019年5月31日までに弊社Feelブランド商品の工事請負契約を締結頂いた方を対象とします。詳しくはスタッフまでお問合せください。